

平成27年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の概要



平成29年3月11日
千葉県教育庁教育振興部
指導課生徒指導・いじめ対策室
043-223-4054

本調査は、児童生徒の生徒指導上の諸問題の現状を把握し、今後の施策の推進を目的に毎年実施されている文部科学省所管の統計調査です。

本概要は、暴力行為、いじめ、長期欠席、公立高等学校の中途退学、自殺に関する平成27年度調査の本県分（千葉市を含む）を取りまとめたものです。

1 調査項目及び対象

- (1) 暴力行為
県内全公立小・中・高等学校
- (2) いじめ
県内全公立小・中・高等学校及び特別支援学校
- (3) 小学校及び中学校における長期欠席の状況等
県内全公立小・中学校
- (4) 高等学校における長期欠席の状況等
県内全公立高等学校
- (5) 高等学校における中途退学者数等の状況
県内全公立高等学校
- (6) 自殺
県内全公立小・中・高等学校

2 調査対象期間

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの1年間

3 調査結果の概要

(1) 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数は3, 518件で、前年度の3, 557件より39件減少。

ア 校種別発生件数

小学校における発生件数は1, 443件で、前年度の1, 062件より381件増加している。

中学校における発生件数は1, 861件で、前年度の2, 285件より424件減少している。

高等学校における発生件数は214件で、前年度の210件より4件増加している。

イ 形態別発生件数

(ア) 対教師暴力

小学校における発生件数は145件で、前年度の225件より80件減少している。中学校における発生件数は155件で、前年度の238件より83件減少している。高等学校における発生件数は12件で、前年度の17件より5件減少している。

(イ) 生徒間暴力

小学校における発生件数は1, 131件で、前年度の688件より443件増加している。中学校における発生件数は1, 164件で、前年度の1, 333件より169件減少している。高等学校における発生件数は152件で、前年度の151件より1件増加している。

(ウ) 対人暴力

小学校における発生件数は24件で、前年度の15件より9件増加している。中学校における発生件数は55件で、前年度の53件より2件増加している。高等学校における発生件数は7件で、前年度の4件より3件増加している。

(エ) 器物損壊

小学校における発生件数は143件で、前年度の134件より9件増加している。中学校における発生件数は487件で、前年度の661件より174件減少している。高等学校における発生件数は43件で、前年度の38件より5件増加している。

(2) 小・中・高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は29, 376件で、前年度の25, 811件より3, 565件増加。

ア 校種別認知件数

(ア) 小学校における認知件数は22, 537件で、前年度の19, 410件より3, 127件増加している。

(イ) 中学校における認知件数は6, 499件で、前年度の6, 180件より319件増加している。

(ウ) 高等学校における認知件数は213件で、前年度の197件より16件増加している。

(エ) 特別支援学校における認知件数は127件で、前年度の24件より103件増加している。

イ いじめの現在の状況

いじめの現在の状況（平成28年3月31日現在の状況）としては、「解消しているもの」が24, 997件で、全認知件数の85.1%、「一定の解消が図られたが、継続支援中」が3, 184件で10.8%、「解消に向けて取組中」が1, 169件で4.0%、「その他」が26件で0.1%である。

ウ いじめの発見のきっかけ

(ア) 小学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（64.7%）、②本人からの訴え（15.5%）、③学級担任が発見（11.6%）である。

(イ) 中学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（54.6%）、②本人からの訴え（18.4%）、③学級担任が発見（11.4%）である。

(ウ) 高等学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（53.1%）、②本人からの訴え（17.8%）、③学級担任が発見（11.3%）である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの発見のきっかけ」のうち上位3つは、①アンケート調査など（71.7%）、②学級担任が発見（15.7%）、③当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え（5.5%）である。

エ いじめられた児童生徒の相談の状況

(ア) 小学校の児童の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談（80.7%）、②保護者や家族等に相談（14.1%）、③誰にも相談して

いない(6.2%)である。

(イ) 中学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(74.9%)、②保護者や家族等に相談(21.5%)、③友人に相談(12.1%)である。

(ウ) 高等学校の生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(56.3%)、②誰にも相談していない(23.0%)、③学級担任以外の教職員に相談(20.7%)である。

(エ) 特別支援学校の児童生徒の「相談の状況」のうち上位3つは、①学級担任に相談(92.9%)、②保護者や家族等に相談(9.4%)、③学級担任以外の教職員に相談(3.1%)である。

オ いじめの態様

(ア) 小学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(55.2%)、②軽くぶつかられる、叩かれる等(23.7%)、③仲間はずれ、集団による無視(16.0%)である。

(イ) 中学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(63.2%)、②軽くぶつかられる、叩かれる等(17.0%)、③仲間はずれ、集団による無視(16.8%)である。

(ウ) 高等学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい、悪口等(56.8%)、②パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる等(24.4%)、③軽くぶつかられる、叩かれる等(10.8%)である。

(エ) 特別支援学校での「いじめの態様」のうち上位3つは、①冷やかしやからかい悪口等(44.1%)、②軽くぶつかられる、叩かれる等(37.8%)、③パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる等(10.2%)である。

(3) 小学校における長期欠席児童数は3,821人で、全児童に対する割合は1.21%である。長期欠席児童の中で不登校を理由としている児童数は1,233人で、前年度の1,158人より75人増加し、全児童に対する割合は0.39%で0.03ポイント増加。

中学校における長期欠席生徒数は6,276人で、全生徒に対する割合は4.06%である。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は4,160人で、前年度の3,963人より197人増加し、全生徒に対する割合は2.69%で0.13ポイント増加。

※不登校児童生徒数(平成27年度に通算して30日以上欠席した児童生徒のうち「不登校」を理由とする児童生徒数)

ア 長期欠席者の状況

(ア) 小学校の長期欠席者3,821人のうち、「病気」は1,590人で長期欠席者全体に占める割合は41.6%、「経済的理由」は2人で長期欠席者全体に占める割合は0.1%、「不登校」は1,233人で長期欠席者全体に占める割合は32.3%、「その他」は996人で長期欠席者全体に占める割合は26.1%である。

(イ) 中学校の長期欠席者6,276人のうち、「病気」は1,677人で長期欠席者全体に占める割合は26.7%、「経済的理由」は1人で長期欠席者全体に占める割合は0.0%、「不登校」は4,160人で長期欠席者全体に占める割合は66.3%、「その他」は438人で長期欠席者全体に占める割合は7.0%である。

イ 不登校の要因

(ア) 小学校の児童で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のう

ち上位3つは、①家庭に係る状況（47.9%）、②いじめを除く友人関係をめぐる問題（21.2%）、③学業の不振（13.5%）である。なお「いじめ」は0.8%である。また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、①「無気力」の傾向がある（31.9%）、②「不安」の傾向がある（28.1%）となっている。

(イ) 中学校の生徒で「不登校の要因」の学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、①いじめを除く友人関係をめぐる問題（31.9%）、②家庭に係る状況（27.6%）、③学業の不振（21.1%）である。なお「いじめ」は0.6%である。また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、①「無気力」の傾向がある（33.0%）、②「不安」の傾向がある（24.3%）となっている。

ウ 不登校児童生徒の欠席の状況

(ア) 小学校の不登校児童で「うち、90日以上欠席している者」の割合は45.5%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は7.3%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は3.2%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は62.4%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は11.9%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は4.1%である。

エ 不登校児童生徒への指導結果状況

(ア) 小学校の不登校児童で「指導の結果登校する又はできるようになった児童」の割合は、29.9%である。

指導中の児童のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童」の割合は、30.2%である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、31.2%である。

指導中の生徒のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、30.8%である。

オ 不登校児童生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(ア) 小学校の不登校児童で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等（31.1%）、②養護教諭（23.9%）、③教育委員会所管の機関（教育支援センターを除く）（14.0%）である。

(イ) 中学校の不登校生徒で「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①スクールカウンセラー・相談員等（35.0%）、②養護教諭（18.2%）、③教育支援センター（12.2%）である。

(4) 高等学校における長期欠席生徒数は3,449人で、前年度の3,676人より227人減少。全生徒に対する割合は3.32%で前年度より0.21ポイント減少。長期欠席生徒の中で不登校を理由としている生徒数は2,604人で、前年度の2,939人より335人減少し、全生徒に対する割合は2.51%で前年度より0.31ポイント減少。

ア 長期欠席者の状況

(ア) 長期欠席者3,449人のうち、「病気」は423人で長期欠席者全体に占める割合は12.3%、「経済的理由」は80人で長期欠席者全体に占める割合は2.3%、「不登校」は2,604人で長期欠席者全体に占める割合は75.5%、「その他」は342人で長期欠席者全体に占める割合は9.9%である。

(イ) 長期欠席者で「不登校」を理由としている生徒のうち、全日制の生徒数は1,680人で、全日制生徒全体に対する割合は1.7%、定時制の生徒数

- は924人で、定時制生徒全体に対する割合は29.8%である。
- イ 不登校の要因
「不登校の要因」のうち学校・家庭に係る要因を示す区分のうち上位3つは、①学業の不振(23.7%)、②いじめを除く友人関係をめぐる問題(15.7%)、③家庭に係る状況(13.6%)である。なお「いじめ」は0.08%である。また、本人に係る要因を示す分類のうち上位2つは、①「無気力」の傾向がある(38.2%)、②「あそび・非行」の傾向がある(17.6%)となっている。
- ウ 不登校生徒の欠席の状況
高等学校の不登校生徒で「うち、90日以上欠席している者」の割合は17.6%、「うち、出席日数が10日以下の者」の割合は3.2%、「うち、出席日数が0日の者」の割合は1.4%である。
- エ 不登校生徒への指導結果状況
高等学校の不登校生徒で「指導の結果登校する又はできるようになった生徒」の割合は、全日制で34.5%、定時制で37.4%である。
指導中の生徒のうち、「登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった生徒」の割合は、全日制で13.6%、定時制で16.4%である。
- オ 不登校生徒が相談・指導等を受けた学校内外の機関等
不登校生徒が「相談・指導等を受けた学校内外の機関等」のうち上位3つは、①養護教諭(18.1%)、②スクールカウンセラー・相談員等(15.6%)、③病院・診療所(4.3%)である。

(5) 公立高等学校の中途退学者数は1,304人で、前年度の1,477人より173人減少し、年度当初の在籍者数に占める割合は1.2%であり、前年度の1.4%より0.2ポイント減少。

(※平成27年4月1日の在籍者数105,003人を基準とする中途退学率)

課程別に見ると、全日制が875人で、前年度の1,020人より145人減少し、定時制は391人で、前年度の443人より52人減少。通信制は38人で、前年度の14人より24人増加。

- ア 課程別の中途退学率は、全日制が0.9%で前年度の1.0%より0.1ポイント減少している。定時制は12.7%で前年度の13.3%より0.6ポイント減少している。通信制は3.3%で前年度の1.3%より2.0ポイント増加している。
- イ 全日制の学年別中途退学率は、第1学年では1.2%、第2学年では1.2%、第3学年では0.4%である。また、単位制では0.4%である。
- ウ 全中途退学者数に占める割合は、全日制において第1学年では26.9%、第2学年では26.8%、第3学年では7.6%、単位制では5.8%である。また、定時制は30.0%、通信制は2.9%である。
- エ 中途退学の理由の上位3つは、①学校生活・学業不適合(50.2%)、②進路変更(21.8%)、③学業不振(12.3%)である。
(ア)「学校生活・学業不適合」の内訳としての上位3つは、①もともと高校生活に熱意がない(42.7%)、②人間関係がうまく保てない(20.9%)、③授業に興味がない(13.8%)である。
(イ)「進路変更」の内訳としての上位3つは、①就職を希望(45.1%)、②別の高校への入学を希望(39.4%)、③高卒程度認定試験受験を希望(9.2%)である。

(6) 小・中・高等学校における自殺者数は8人(小0人、中4人、高4人)。

千葉県の問題行動等の概要

1 暴力行為

校種別 形態・年度	小学校(件)		中学校(件)		高等学校(件)		合計(件)		増減	
	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外	学校内	学校外		
対教師暴力	17年度	10	0	89	3	18	0	117	3	120
	18年度	20	0	165	0	25	0	210	0	210
	19年度	29	1	243	0	23	0	295	1	296
	20年度	45	0	278	2	18	0	342	2	344
	21年度	64	0	183	0	14	0	261	0	261
	22年度	75	2	271	0	30	0	376	2	378
	23年度	83	0	244	14	21	0	348	14	362
	24年度	80	0	211	1	20	0	311	1	312
	25年度	98	0	271	2	14	0	383	2	385
	26年度	225	0	235	3	17	0	477	3	480
	27年度	145	0	154	1	12	0	311	1	312
生徒間暴力	17年度	24	4	247	37	153	23	424	64	488
	18年度	63	8	370	69	193	22	626	99	725
	19年度	132	9	834	104	172	20	1,138	133	1,271
	20年度	199	35	969	96	184	19	1,352	150	1,502
	21年度	278	15	1,006	137	177	20	1,461	172	1,633
	22年度	317	8	1,063	144	179	29	1,559	181	1,740
	23年度	317	24	1,088	128	154	23	1,559	175	1,734
	24年度	353	23	1,048	148	152	22	1,553	193	1,746
	25年度	535	33	1,212	138	123	21	1,870	192	2,062
	26年度	656	20	1,210	123	139	12	2,017	155	2,172
	27年度	1,077	54	1,102	62	143	9	2,322	125	2,447
対人暴力	17年度	0	0	0	35	0	14	0	49	49
	18年度	0	0	2	43	0	9	2	52	54
	19年度	6	2	9	65	0	13	15	80	95
	20年度	4	7	10	53	2	12	16	72	88
	21年度	11	1	23	74	0	15	34	90	124
	22年度	7	3	14	56	0	18	21	77	98
	23年度	15	2	9	48	0	17	24	67	91
	24年度	2	2	8	65	0	8	10	75	85
	25年度	19	2	44	66	3	13	66	81	147
	26年度	7	8	12	41	1	3	20	52	72
	27年度	19	5	37	18	6	1	82	24	86
器物損	17年度	16	—	279	—	68	—	363	—	363
	18年度	37	—	349	—	50	—	436	—	436
	19年度	46	—	652	—	64	—	762	—	762
	20年度	40	—	1,051	—	75	—	1,166	—	1,166
	21年度	86	—	821	—	57	—	964	—	964
	22年度	109	—	801	—	54	—	964	—	964
	23年度	98	—	714	—	84	—	896	—	896
	24年度	86	—	575	—	83	—	744	—	744
	25年度	101	—	673	—	63	—	837	—	837
	26年度	134	—	661	—	38	—	833	—	833
	27年度	143	—	487	—	43	—	673	—	673
合計	17年度	50	4	615	75	239	37	904	116	1,020
	18年度	120	8	886	112	268	31	1,274	151	1,425
	19年度	213	12	1,738	169	259	33	2,210	214	2,424
	20年度	288	42	2,309	151	279	31	2,876	224	3,100
	21年度	439	16	2,033	211	248	35	2,720	262	2,982
	22年度	508	13	2,149	200	263	47	2,920	260	3,180
	23年度	513	26	2,055	190	259	40	2,827	256	3,083
	24年度	521	25	1,842	214	255	30	2,618	269	2,887
	25年度	753	35	2,200	206	203	34	3,156	275	3,431
	26年度	1,024	28	2,118	167	195	15	3,347	210	3,557
	27年度	1,384	59	1,780	81	204	10	3,388	150	3,538

2 いじめ

年度	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	合計(件)	増減
17年度	618	1,182	69	2	1,871	
18年度	4,671	3,745	171	9	8,596	6,725
19年度	5,103	3,970	141	12	9,226	630
20年度	3,646	3,244	145	6	7,041	△2,185
21年度	3,570	2,997	93	14	6,674	△367
22年度	4,239	3,931	158	7	8,335	1,661
23年度	3,672	3,556	138	12	7,378	△957
24年度	14,175	5,916	565	31	20,687	13,309
25年度	13,894	6,162	132	9	20,187	△500
26年度	19,410	6,180	197	24	25,811	5,624
27年度	22,537	6,499	213	127	29,376	3,565

3 不登校

年度	小学校不登校生徒数		中学校不登校生徒数		合計(人)	増減	高等学校不登校生徒数		増減
	不登校児童数(人)	不登校率(%)	不登校生徒数(人)	不登校率(%)			不登校生徒数(人)	不登校率(%)	
17年度	776	0.23%	4,091	2.72%	4,867	4,867	3,073	3.07%	
18年度	821	0.25%	4,190	2.72%	5,011	144	2,873	2.79%	
19年度	819	0.25%	4,363	2.89%	5,182	171	3,195	3.17%	
20年度	811	0.24%	4,340	2.87%	5,151	△31	2,851	2.86%	
21年度	852	0.26%	4,247	2.77%	5,099	△52	2,376	2.39%	
22年度	871	0.26%	4,182	2.74%	5,053	△46	2,506	2.47%	
23年度	898	0.27%	3,879	2.51%	4,777	△277	3,017	2.93%	
24年度	856	0.26%	3,734	2.42%	4,590	△187	2,890	2.77%	
25年度	1,086	0.34%	3,884	2.51%	4,970	380	2,845	2.75%	
26年度	1,159	0.36%	3,963	2.56%	5,121	151	2,939	2.62%	
27年度	1,239	0.39%	4,100	2.69%	5,339	212	2,604	2.51%	△395

4 高等学校の長期欠席状況等

年度	生徒数(人)	不登校(人)	病気・経済的・その他(人)	長期欠席(人)	長欠率(%)
17年度	105,990	3,251	1,901	5,152	4.86%
18年度	102,938	2,873	1,870	4,743	4.61%
19年度	100,798	3,195	1,632	4,827	4.79%
20年度	99,616	2,951	1,672	4,623	4.54%
21年度	99,497	2,376	1,238	3,614	3.63%
22年度	101,647	2,506	1,178	3,684	3.62%
23年度	102,897	3,017	877	3,894	3.78%
24年度	104,388	2,890	922	3,812	3.65%
25年度	103,495	2,845	828	3,673	3.55%
26年度	104,268	2,939	737	3,676	3.53%
27年度	103,808	2,604	845	3,449	3.32%

5 高等学校の中途退学者

年度	中途退学率(%)	全日制(人)	定時制(人)	通信制(人)	合計(人)	増減
17年度	2.44%	2,105	488	—	2,593	
18年度	2.42%	2,006	483	—	2,489	△104
19年度	2.36%	1,936	442	—	2,378	△111
20年度	2.19%	1,695	490	—	2,185	△193
21年度	1.75%	1,305	440	—	1,745	△440
22年度	1.62%	1,157	494	—	1,651	△94
23年度	1.66%	1,177	530	—	1,707	56
24年度	1.50%	1,063	480	—	1,563	△144
25年度	1.1%	1,107	473	10	1,590	27
26年度	1.40%	1,020	443	14	1,477	△113
27年度	1.24%	875	391	39	1,304	△173

注1)平成25年度より通信制課程が加わった。

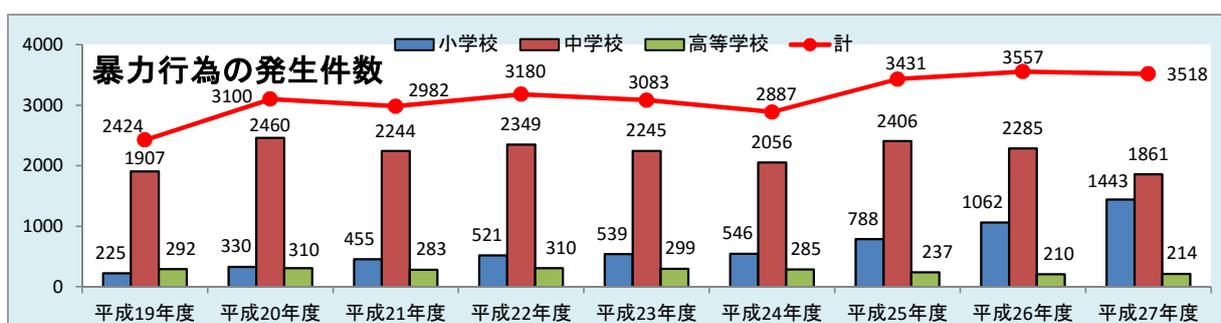
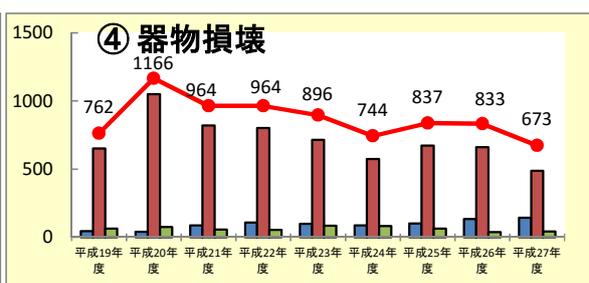
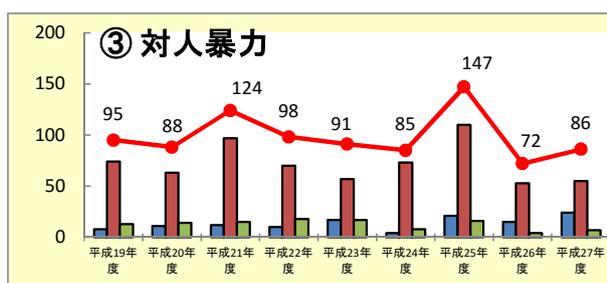
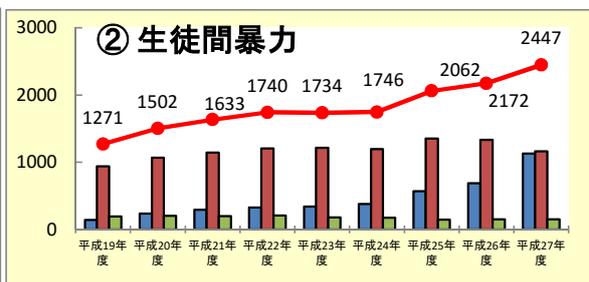
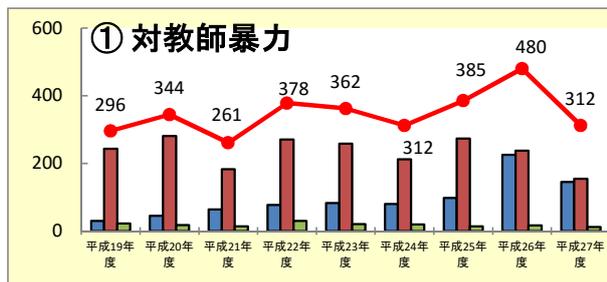
6 自殺

年度	小学校(人)	中学校(人)	高等学校(人)	合計(人)
17年度	0	1	4	5
18年度	0	3	6	9
19年度	0	0	3	3
20年度	0	3	4	7
21年度	0	2	4	6
22年度	0	1	5	6
23年度	0	1	0	1
24年度	1	2	9	12
25年度	0	4	8	12
26年度	2	4	7	13
27年度	0	4	4	8

平成27年度 公立小・中・高等学校の暴力行為の発生件数(千葉県)

(単位:延べ件数)

年度	学校種別	① 対教師暴力		② 生徒間暴力		③ 対人暴力		④ 器物損壊	小計	計
		校内	校外	校内	校外	校内	校外	校内		
平成19年度	小学校	29	1	132	9	6	2	46	225	2,424
	中学校	243	0	834	104	9	65	652	1,907	
	高等学校	23	0	172	20	0	13	64	292	
平成20年度	小学校	45	0	199	35	4	7	40	330	3,100
	中学校	279	2	969	96	10	53	1,051	2,460	
	高等学校	18	0	184	19	2	12	75	310	
平成21年度	小学校	64	0	278	15	11	1	86	455	2,982
	中学校	183	0	1,006	137	23	74	821	2,244	
	高等学校	14	0	177	20	0	15	57	283	
平成22年度	小学校	75	2	317	8	7	3	109	521	3,180
	中学校	271	0	1,063	144	14	56	801	2,349	
	高等学校	30	0	179	29	0	18	54	310	
平成23年度	小学校	83	0	317	24	15	2	98	539	3,083
	中学校	244	14	1,088	128	9	48	714	2,245	
	高等学校	21	0	154	23	0	17	84	299	
平成24年度	小学校	80	0	353	23	2	2	86	546	2,887
	中学校	211	1	1,048	148	8	65	575	2,056	
	高等学校	20	0	152	22	0	8	83	285	
平成25年度	小学校	98	0	535	33	19	2	101	788	3,431
	中学校	271	2	1,212	138	44	66	673	2,406	
	高等学校	14	0	123	21	3	13	63	237	
平成26年度	小学校	225	0	668	20	7	8	134	1,062	3,557
	中学校	235	3	1,210	123	12	41	661	2,285	
	高等学校	17	0	139	12	1	3	38	210	
平成27年度	小学校	145	0	1,077	54	19	5	143	1,443	3,518
	中学校	154	1	1,102	62	37	18	487	1,861	
	高等学校	12	0	143	9	6	1	43	214	



※ 暴力行為の定義(平成19年度一部改訂)

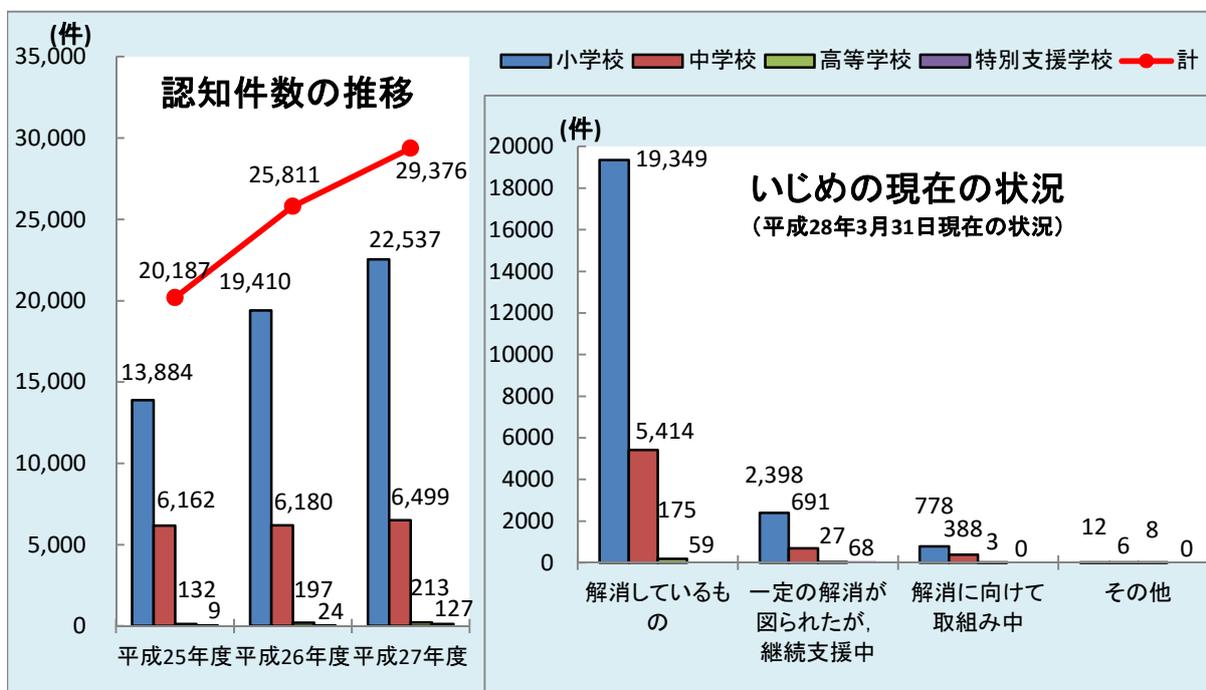
「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分ける。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は、調査対象外とする。

平成27年度 公立小・中・高・特支のいじめの状況等(千葉県)

1 いじめの認知状況等

	区 分	公立学校 総数	うち認知校数及び 割合(%)		認知件数	増減【%】	一校平均 件数
			校数	割合(%)			
小学校	平成25年度	828	581	70.2%	13,884	△291【△2.1%】	16.8
	平成26年度	820	591	72.1%	19,410	5,526【39.8%】	23.7
	平成27年度	810	622	76.8%	22,537	3,127【16.1%】	27.8
中学校	平成25年度	382	331	86.6%	6,162	246【4.2%】	16.1
	平成26年度	382	329	86.1%	6,180	18【0.3%】	16.2
	平成27年度	381	333	87.4%	6,499	319【5.2%】	17.1
高等学校	平成25年度	150	49	32.7%	132	△433【△76.6%】	0.9
	平成26年度	148	55	37.2%	197	65【49.2%】	1.3
	平成27年度	146	60	41.1%	213	16【8.1%】	1.5
特別 学校 支援	平成25年度	37	6	16.2%	9	△22【△71.0%】	0.2
	平成26年度	38	10	26.3%	24	15【166.7%】	0.6
	平成27年度	42	13	31.0%	127	103【429.2%】	3.0
計	平成25年度	1,397	967	69.2%	20,187	△500【△2.4%】	14.5
	平成26年度	1,388	985	71.0%	25,811	5,624【27.9%】	18.6
	平成27年度	1,379	1,028	74.5%	29,376	3,565【13.8%】	21.3

※高等学校の「公立学校総数」は、県立、市立の全日制128校、定時制17校、通信制1校の合計である。



※ いじめの定義(平成25年度一部改訂)

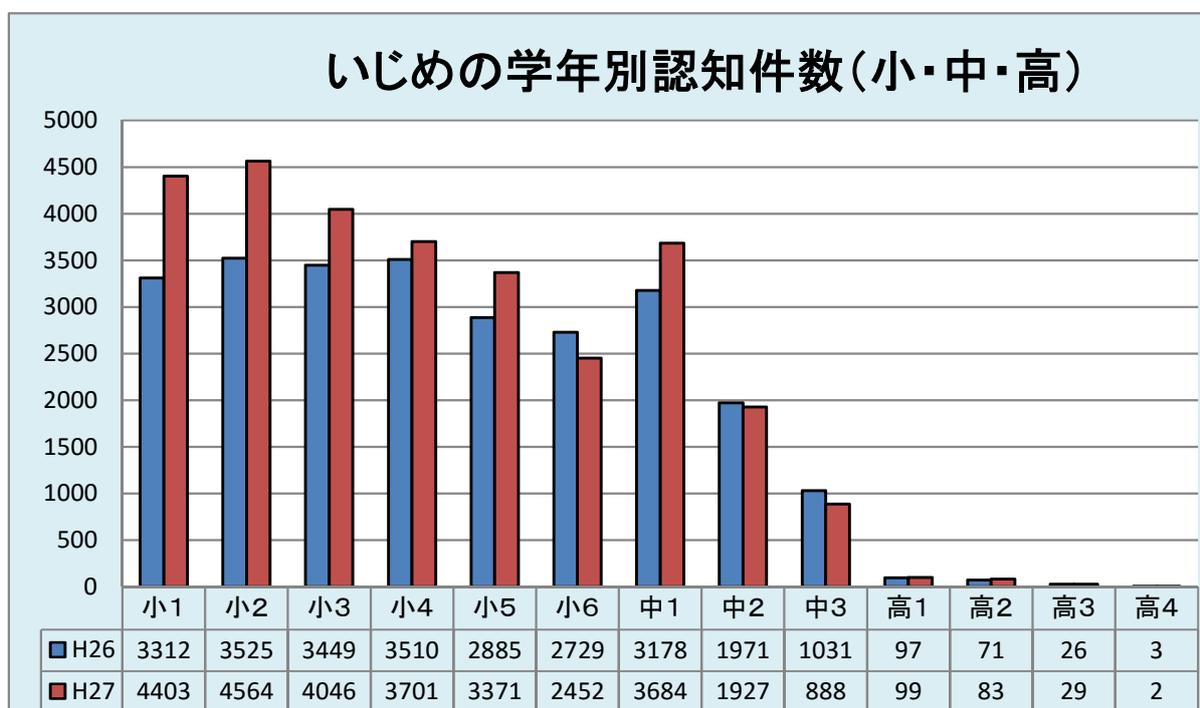
本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立つて行うものとする。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものも含む。)であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

2 いじめの認知件数の学年別, 男女別内訳

(単位:件)

区分		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
小学校	男子	2,504	2,644	2,355	2,175	1,943	1,450	13,071
	女子	1,899	1,920	1,691	1,526	1,428	1,002	9,466
	小計	4,403	4,564	4,046	3,701	3,371	2,452	22,537
中学校	男子	2,199	1,068	558	—	—	—	3,825
	女子	1,485	859	330	—	—	—	2,674
	小計	3,684	1,927	888	—	—	—	6,499
高等学校	男子	66	52	24	2	—	—	144
	女子	33	31	5	0	—	—	69
	小計	99	83	29	2	—	—	213
小学部	男子	7	5	7	2	8	1	30
	女子	1	1	3	1	2	3	11
	小計	8	6	10	3	10	4	41
中学部	男子	5	13	6	—	—	—	24
	女子	4	0	1	—	—	—	5
	小計	9	13	7	—	—	—	29
高等部	男子	12	7	5	—	—	—	24
	女子	17	4	12	—	—	—	33
	小計	29	11	17	—	—	—	57
特別支援学校計		46	30	34	3	10	4	127
合計		8,232	6,604	4,997	3,706	3,381	2,456	29,376

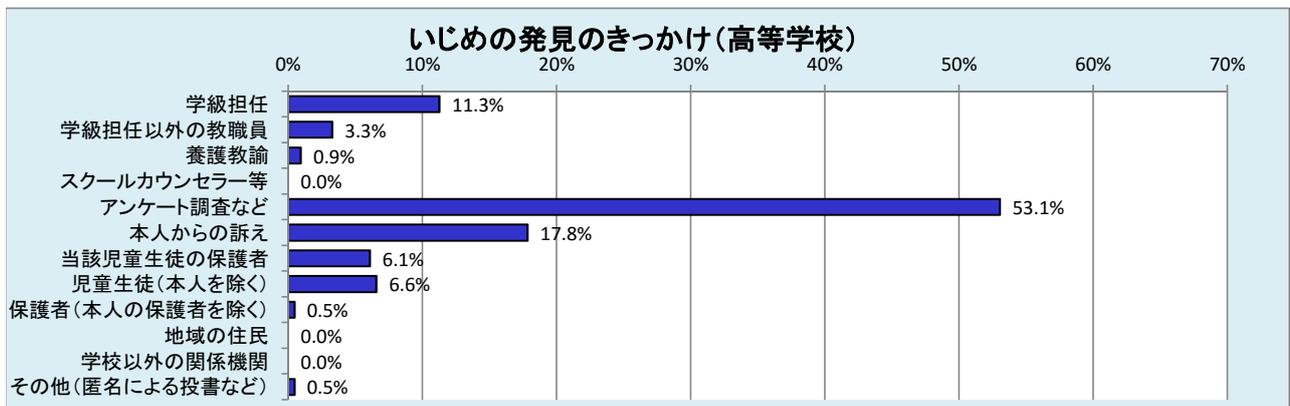
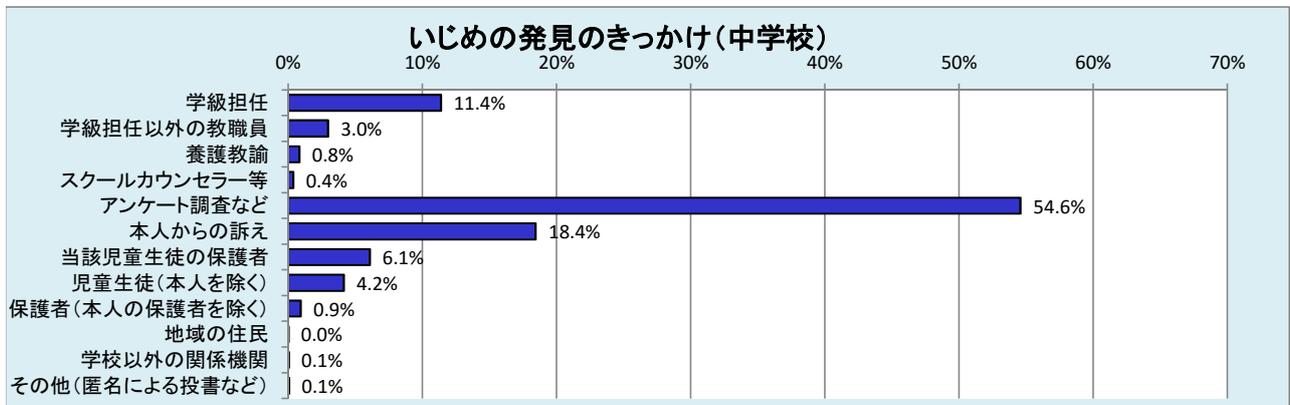
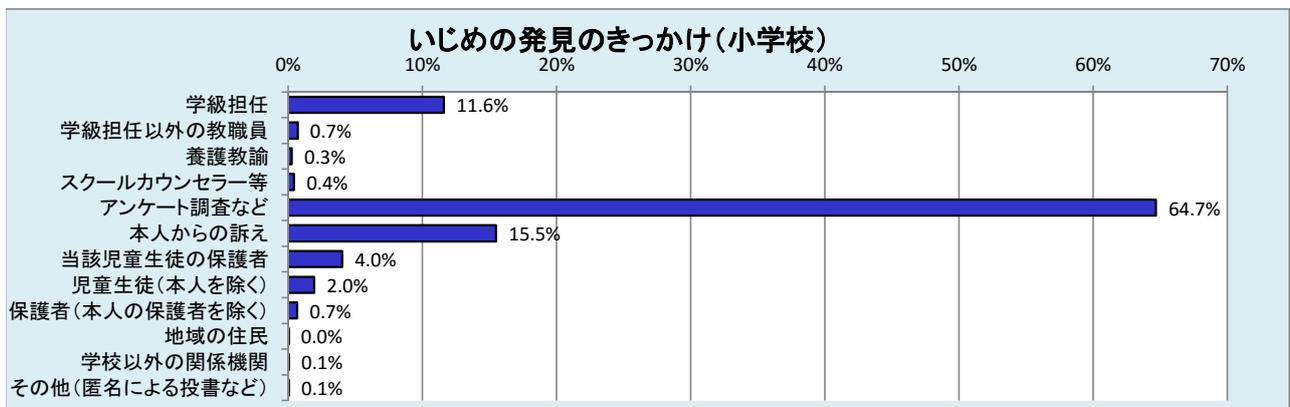


(注)調査では、単位制の高等学校の1年次生は「高1」、2年次生は「高2」、3年次生は「高3」、4年次生以上は「高4」としてそれぞれ計上している。

3 いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
学校の教職員等が発見	17,510	4,562	146	115	22,333	
内訳	学級担任	2,617	740	24	20	3,401
	学級担任以外の教職員	160	194	7	4	365
	養護教諭	60	55	2	0	117
	スクールカウンセラー等	98	25	0	0	123
	アンケート調査など	14,575	3,548	113	91	18,327
学校の教職員以外からの情報により発見	5,027	1,937	67	12	7,043	
内訳	本人からの訴え	3,491	1,199	38	3	4,731
	当該児童生徒の保護者	911	396	13	7	1,327
	児童生徒(本人を除く)	440	270	14	0	724
	保護者(本人の保護者を除く)	151	61	1	1	214
	地域の住民	9	2	0	0	11
	学校以外の関係機関	13	4	0	1	18
	その他(匿名による投書など)	12	5	1	0	18
計	22,537	6,499	213	127	29,376	

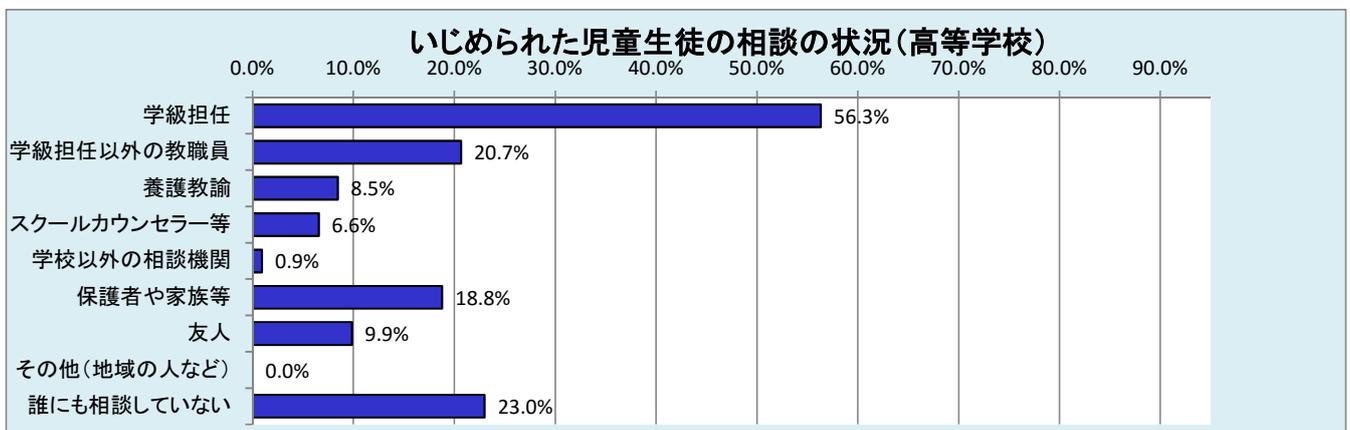
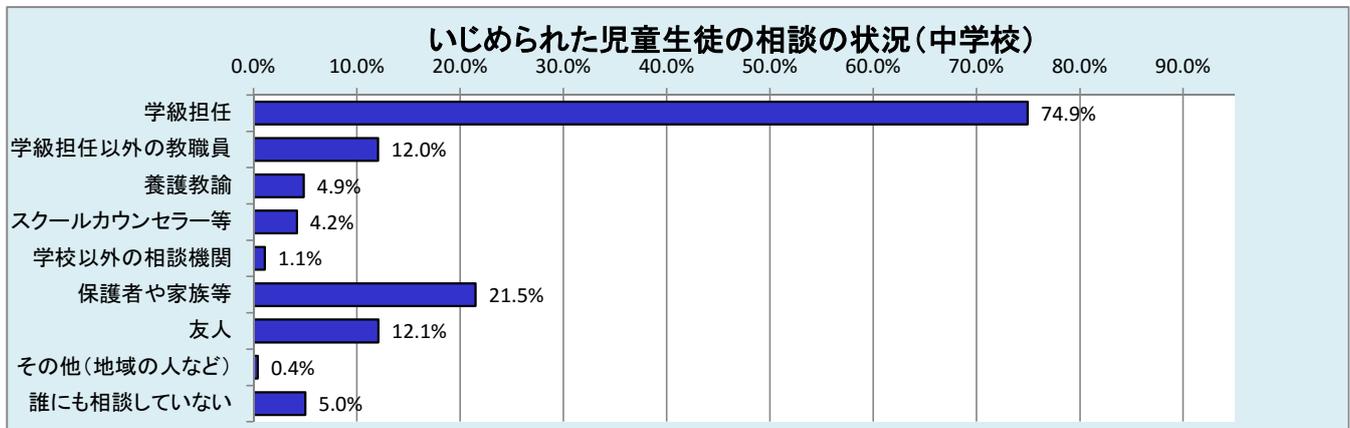
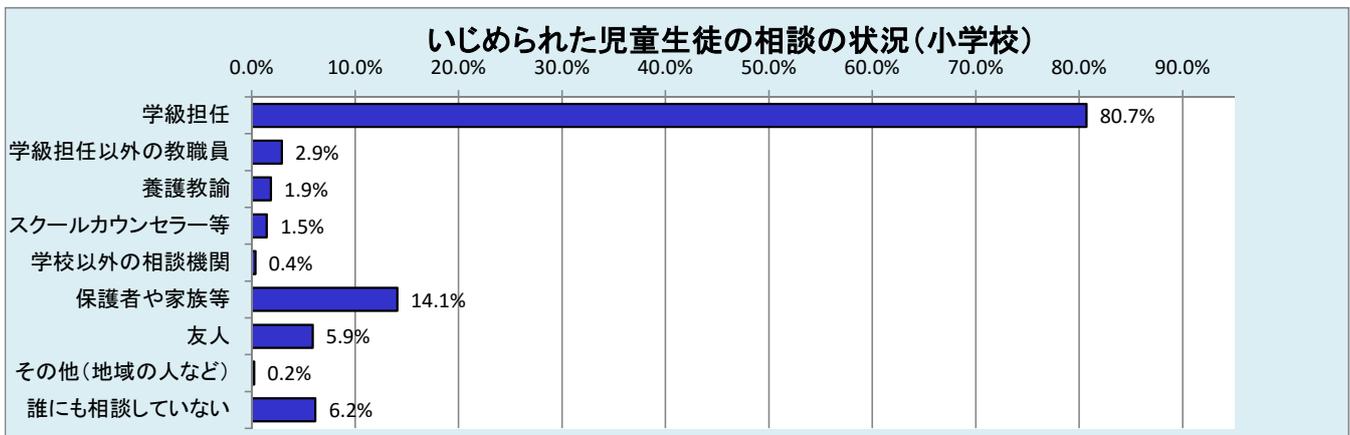


4 いじめられた児童生徒の相談の状況

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任	18,188	4,871	120	118	23,297
学級担任以外の教職員	654	783	44	4	1,485
養護教諭	417	317	18	0	752
スクールカウンセラー等	331	273	14	0	618
学校以外の相談機関	79	72	2	0	153
保護者や家族等	3,174	1,396	40	12	4,622
友人	1,329	786	21	2	2,138
その他(地域の人など)	52	27	0	1	80
誰にも相談していない	1,389	326	49	2	1,766
計	25,613	8,851	308	139	34,911

(注)複数選択を可としている。



※上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

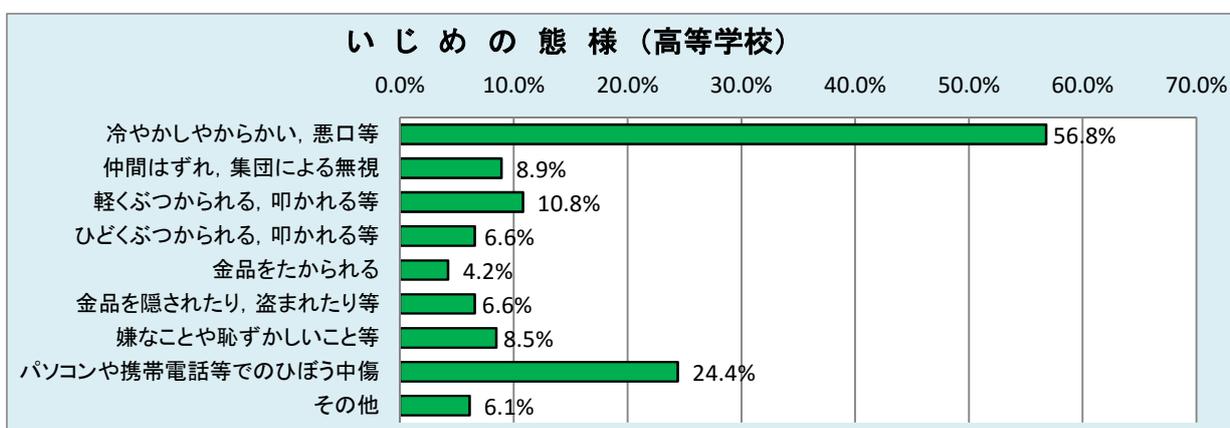
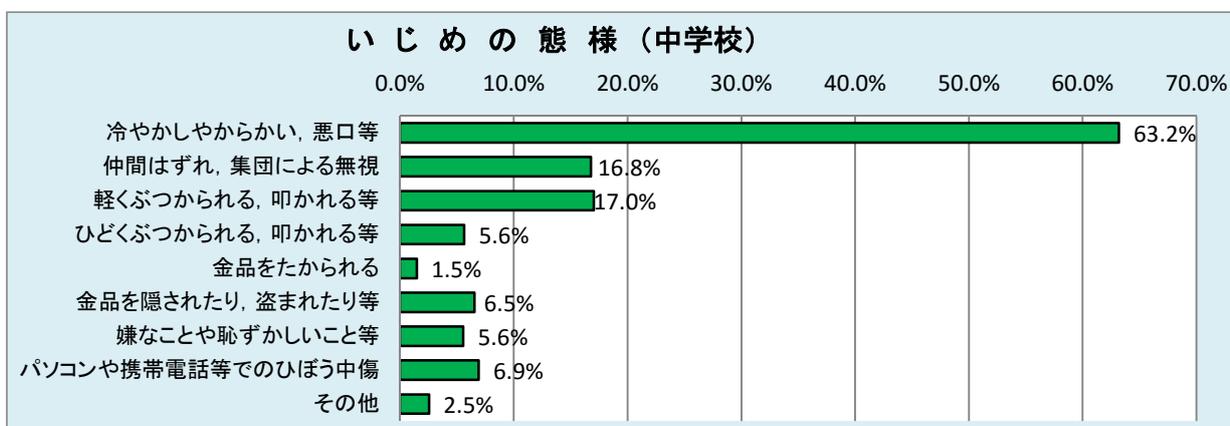
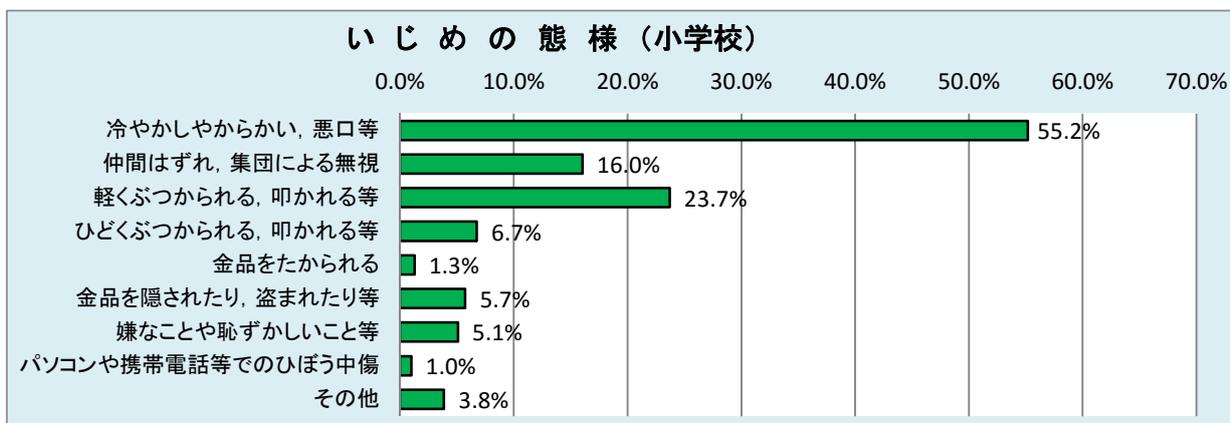
(認知件数: 小学校22,537件、中学校6,499件、高等学校213件)

5 いじめの態様

(単位:件)

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしやからかい, 悪口等	12,436	4,107	121	56	16,720
仲間はずれ, 集団による無視	3,612	1,091	19	4	4,726
軽くぶつかられる, 叩かれる等	5,341	1,107	23	48	6,519
ひどくぶつかられる, 叩かれる等	1,517	366	14	2	1,899
金品をたかられる	285	95	9	0	389
金品を隠されたり, 盗まれたりする等	1,291	425	14	7	1,737
嫌なことや恥ずかしいことをされる等	1,145	361	18	0	1,524
パソコンや携帯電話等でのひぼう中傷等	221	449	52	13	735
その他	866	165	13	7	1,051
計	26,714	8,166	283	137	35,300

(注)複数選択を可としている。



(注)上記の割合(%)は各学校種ごとのいじめの認知件数に対する割合を示している。

平成27年度 公立小中学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1) 長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	長期欠席率(%)
小学校	316,855	3,821	1.21%
中学校	154,585	6,276	4.06%
合 計	471,440	10,097	2.14%

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2) 理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	小学校			中学校			合 計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病 気	1,590	0.50%	41.61%	1,677	1.08%	26.72%	3,267	0.69%	32.36%
経済的理由	2	0.00%	0.05%	1	0.00%	0.02%	3	0.00%	0.03%
不登校	1,233	0.39%	32.27%	4,160	2.69%	66.28%	5,393	1.14%	53.41%
その他	996	0.31%	26.07%	438	0.28%	6.98%	1,434	0.30%	14.20%
合 計	3,821	1.21%	100%	6,276	4.06%	100%	10,097	2.14%	100.00%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	合 計
小学校	609	570	1,179
中学校	2,414	1,746	4,160
合 計	3,023	2,316	5,339

(注)小学校1年生54名については入学前の調査していない。

3 小・中学校における不登校児童生徒数の変遷

区分	年度	学校数	全児童生徒数 (人)	不登校児童生 徒数(人)	前年度との不 登校数の差 (人)	全児童生徒に 対する割合 (%)	前年度との割 合の差
小 学 校	平成12年度	860	329,973	904		0.27%	0.00
	平成13年度	860	327,851	831	-73	0.25%	-0.02
	平成14年度	859	327,455	839	8	0.26%	0.01
	平成15年度	859	329,643	848	9	0.26%	0.00
	平成16年度	859	329,922	764	-84	0.23%	-0.03
	平成17年度	858	331,897	776	12	0.23%	0.00
	平成18年度	855	333,374	821	45	0.25%	0.02
	平成19年度	854	332,846	819	-2	0.25%	0.00
	平成20年度	850	334,308	811	-8	0.24%	-0.01
	平成21年度	845	333,929	852	41	0.26%	0.02
	平成22年度	847	333,188	871	19	0.26%	0.00
	平成23年度	838	331,232	898	27	0.27%	0.01
	平成24年度	837	325,557	856	-42	0.26%	-0.01
	平成25年度	828	322,121	1,086	230	0.34%	0.08
	平成26年度	820	319,190	1,158	72	0.36%	0.02
平成27年度	810	316,855	1,233	75	0.39%	0.03	
中 学 校	平成12年度	385	172,422	4,541		2.63%	0.24
	平成13年度	385	167,559	4,629	88	2.76%	0.13
	平成14年度	385	161,781	4,301	-328	2.66%	-0.10
	平成15年度	385	156,398	4,085	-216	2.61%	-0.05
	平成16年度	384	152,280	3,992	-93	2.62%	0.01
	平成17年度	382	150,490	4,091	99	2.72%	0.10
	平成18年度	383	149,670	4,190	99	2.80%	0.08
	平成19年度	384	150,894	4,363	173	2.89%	0.09
	平成20年度	385	151,289	4,340	-23	2.87%	-0.02
	平成21年度	383	153,337	4,247	-93	2.77%	-0.10
	平成22年度	383	152,764	4,182	-65	2.74%	-0.03
	平成23年度	382	154,643	3,879	-303	2.51%	-0.23
	平成24年度	383	154,563	3,734	-145	2.42%	-0.09
	平成25年度	382	155,022	3,884	150	2.51%	0.09
	平成26年度	382	154,662	3,963	79	2.56%	0.05
平成27年度	381	154,585	4,160	197	2.69%	0.13	
合 計	平成12年度	1245	502,395	5,445		1.08%	0.07
	平成13年度	1245	495,410	5,460	15	1.10%	0.02
	平成14年度	1244	489,236	5,140	-320	1.05%	-0.05
	平成15年度	1244	486,041	4,933	-207	1.01%	-0.04
	平成16年度	1243	482,202	4,756	-177	0.99%	-0.02
	平成17年度	1240	482,387	4,867	111	1.01%	0.02
	平成18年度	1238	483,044	5,011	144	1.04%	0.03
	平成19年度	1238	483,740	5,182	171	1.07%	0.03
	平成20年度	1235	485,597	5,151	-31	1.06%	-0.01
	平成21年度	1228	487,266	5,099	-52	1.05%	-0.01
	平成22年度	1230	485,952	5,053	-46	1.04%	-0.01
	平成23年度	1220	485,875	4,777	-276	0.98%	-0.06
	平成24年度	1220	480,120	4,590	-187	0.96%	-0.02
	平成25年度	1210	477,143	4,970	380	1.04%	0.08
	平成26年度	1202	473,852	5,121	151	1.08%	0.04
平成27年度	1191	471,440	5,393	272	1.14%	0.06	

4 学年別不登校児童生徒数

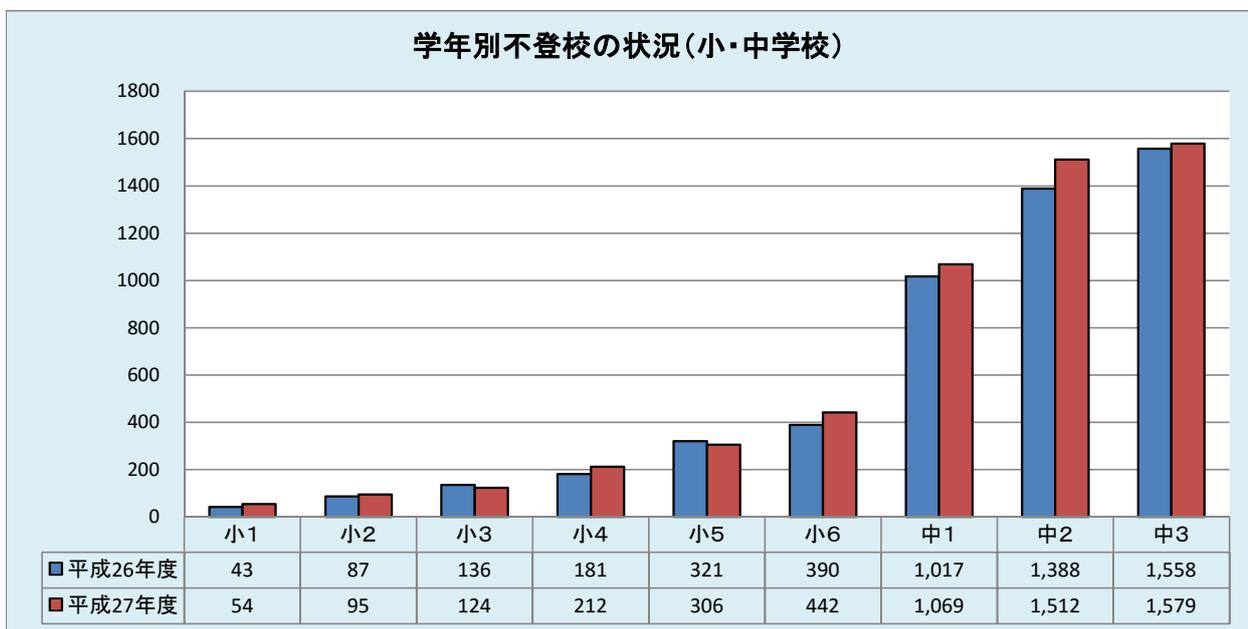
(1) 小学校

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
不登校児童数	54	95(32)	124(58)	212(96)	306(145)	442(278)	1,233(609)
90日以上欠席	15	34	42	99	143	228	561
出席日数が10日以下	2	4	8	17	27	32	90
出席日数が0日	1	1	5	8	10	14	39

(2) 中学校

区分	1年	2年	3年	合計
不登校児童数	1,069(359)	1,512(889)	1,579(1,166)	4,160(2,414)
90日以上欠席	607	920	1,067	2,594
出席日数が10日以下	73	218	205	496
出席日数が0日	19	90	60	169

※()内は前年度から不登校の状態(30日以上)が継続している児童生徒の人数。中学1年生については平成25年度における小学校6年生の不登校児童生徒の人数。



5 不登校児童生徒の在籍学校数

区分	学校総数(校)	不登校在籍学校数(校)
小学校	810	466
中学校	381	351
合計	1,191	817

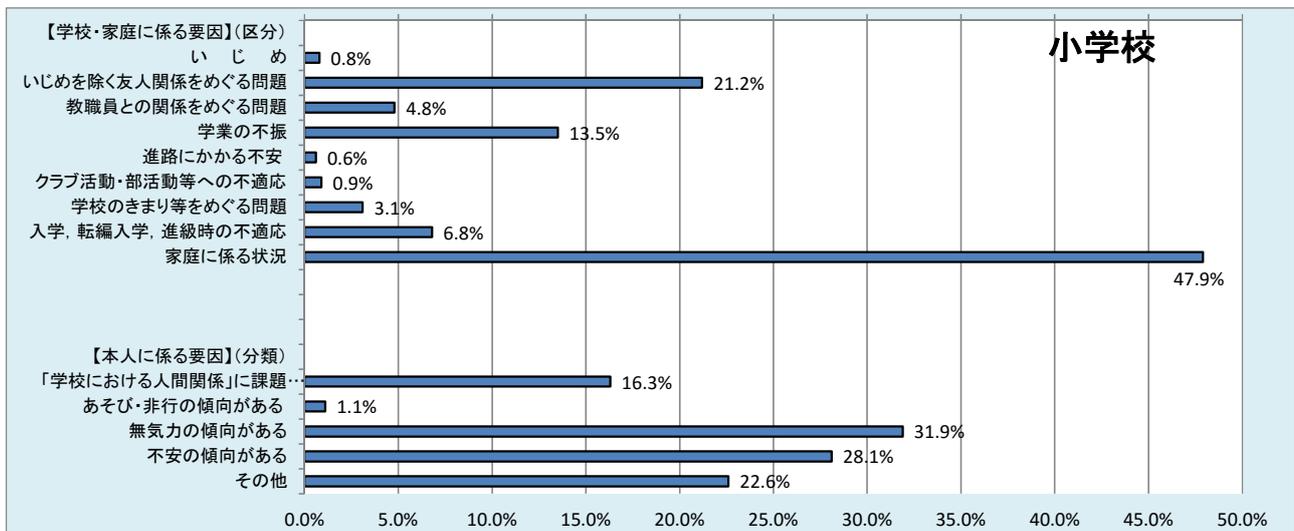
6 不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校	中学校	計
	人数 %	人数 %	人数 %
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	369 29.9%	1,299 31.2%	1,668 30.9%
指導中の児童生徒	864 70.1%	2,861 68.8%	3,725 69.1%
うち継続した登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった児童生徒	261 21.2%	880 21.2%	1,141 21.2%
合計	1,233	4,160	5,393

7 不登校の要因

(1) 小学校

本人に係る要因 (分類)	学校、家庭に係る要因 (区分)	分類別児童数	学校に係る状況							家庭に係る状況	
			いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係の問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題		入学、転編入学、進級時の不適応
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		201	5	130	36	21	0	5	4	10	35
	—		2.5%	64.7%	17.9%	10.4%	0.0%	2.5%	2.0%	5.0%	17.4%
	16.3%	50.0%	49.6%	61.0%	12.7%	0.0%	45.5%	10.5%	11.9%	5.9%	
「あそび・非行」の傾向がある。		14	0	1	1	4	0	0	1	0	7
	—		0.0%	7.1%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	50.0%
	1.1%	0.0%	0.4%	1.7%	2.4%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	1.2%	
「無気力」の傾向がある。		393	0	38	4	75	2	0	20	21	233
	—		0.0%	9.7%	1.0%	19.1%	0.5%	0.0%	5.1%	5.3%	59.3%
	31.9%	0.0%	14.5%	6.8%	45.2%	25.0%	0.0%	52.6%	25.0%	39.4%	
「不安」の傾向がある。		346	1	85	15	49	5	4	7	45	136
	—		0.3%	24.6%	4.3%	14.2%	1.4%	1.2%	2.0%	13.0%	39.3%
	28.1%	10.0%	32.4%	25.4%	29.5%	62.5%	36.4%	18.4%	53.6%	23.0%	
「その他」		279	4	8	3	17	1	2	6	8	180
	—		1.4%	2.9%	1.1%	6.1%	0.4%	0.7%	2.2%	2.9%	64.5%
	22.6%	40.0%	3.1%	5.1%	10.2%	12.5%	18.2%	15.8%	9.5%	30.5%	
計		1,233	10	262	59	166	8	11	38	84	591
	100.0%	0.8%	21.2%	4.8%	13.5%	0.6%	0.9%	3.1%	6.8%	47.9%	



(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。

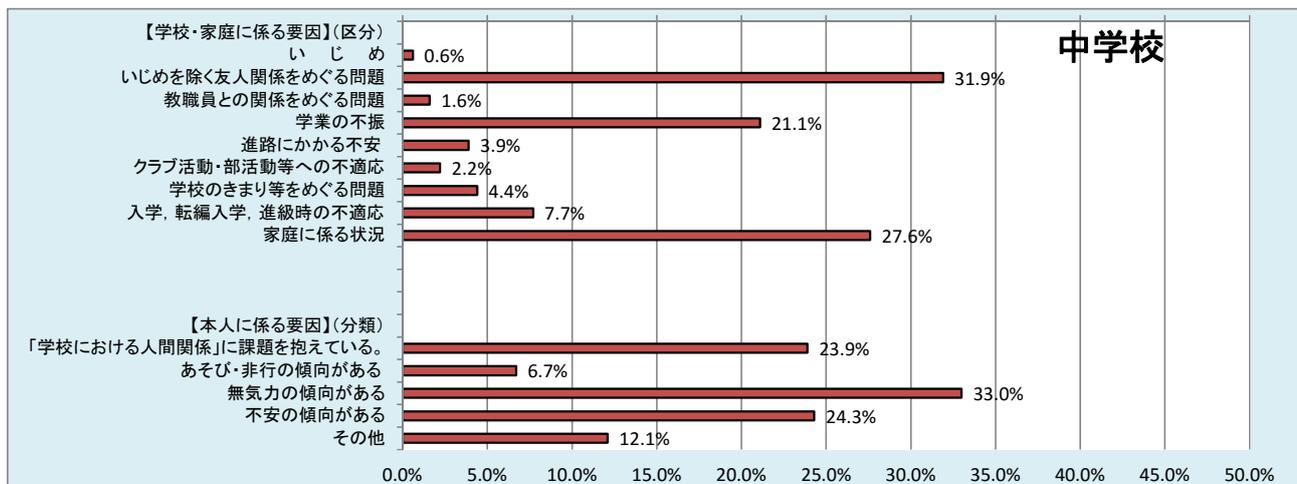
(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(2) 中学校

学校、家庭に係る要因 (区分)	本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	学校に係る状況							家庭に係る状況
			いじめ	いじめを除く友人関係	教職員との関係	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動等への不適応	学校のきまり等	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	995	5	721	30	85	13	39	6	78	101
	—	0.5%	72.5%	3.0%	8.5%	1.3%	3.9%	0.6%	7.8%	10.2%
	23.9%	18.5%	54.4%	45.5%	9.7%	8.0%	42.9%	3.2%	24.3%	8.8%
「あそび・非行」の傾向がある。	280	0	23	3	75	4	0	101	14	112
	—	0.0%	8.2%	1.1%	26.8%	1.4%	0.0%	36.1%	5.0%	40.0%
	6.7%	0.0%	1.7%	4.5%	8.5%	2.5%	0.0%	54.6%	4.4%	9.8%
「無気力」の傾向がある。	1,372	0	209	9	417	50	29	48	85	486
	—	0.0%	15.2%	0.7%	30.4%	3.6%	2.1%	3.5%	6.2%	35.4%
	33.0%	0.0%	15.8%	13.6%	47.5%	30.7%	31.9%	25.9%	26.5%	42.3%
「不安」の傾向がある。	1,010	2	338	14	205	84	19	20	107	234
	—	0.2%	33.5%	1.4%	20.3%	8.3%	1.9%	2.0%	10.6%	23.2%
	24.3%	7.4%	25.5%	21.2%	23.3%	51.5%	20.9%	10.8%	33.3%	20.4%
「その他」	503	20	34	10	96	12	4	10	37	215
	—	4.0%	6.8%	2.0%	19.1%	2.4%	0.8%	2.0%	7.4%	42.7%
	12.1%	74.1%	2.6%	15.2%	10.9%	7.4%	4.4%	5.4%	11.5%	18.7%
計	4,160	27	1,325	66	878	163	91	185	321	1,148
	100.0%	0.6%	31.9%	1.6%	21.1%	3.9%	2.2%	4.4%	7.7%	27.6%



(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。

(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

8 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	小学校					中学校					計					
	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いの人数	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱い(人)	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	人数	割合(%)	指導要録上出席扱いの人数	出席扱いにした学校数(校)	通学定期乗車券制度の利用人数	
学 校	(1)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けた実人数	425	34.5%	216	157	6	1,066	25.6%	771	275	27	1,491	27.6%	987	432	33
	① 教育支援センター(適応指導教室)	138	11.2%	107	85	1	506	③ 12.2%	469	204	16	644	③ 11.9%	576	289	17
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	173	③ 14.0%	82	61	0	270	6.5%	211	83	5	443	8.2%	293	144	5
	③ 児童相談所, 福祉事務所	49	4.0%	19	15	0	83	2.0%	30	22	0	132	2.4%	49	37	0
	④ 保健所, 精神保健福祉センター	0	0.0%	0	0	0	4	0.1%	1	1	0	4	0.1%	1	1	0
	⑤ 病院, 診療所	69	5.6%	8	7	0	157	3.8%	21	14	0	226	4.2%	29	21	0
	⑥ 民間団体, 民間施設	48	3.9%	15	13	4	72	1.7%	59	48	8	120	2.2%	74	61	12
	⑦ 上記以外の機関等	22	1.8%	5	5	1	27	0.6%	9	7	0	49	0.9%	14	12	1
外	(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	808	65.5%				3,094	74.4%				3,902	72.4%			
	(3) (1), (2)の合計	1,233	100%				4,160	100%				5,393	100%			
学 校 内	(4)⑧, ⑨による相談・指導を受けた実人数	578	46.9%				1,972	47.4%				2,550	47.3%			
	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	295	② 23.9%				757	② 18.2%				1,052	② 19.5%			
	⑨ スクールカウンセラー, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	384	① 31.1%				1,458	① 35.0%				1,842	① 34.2%			
	(5)上記⑧, ⑨による相談・指導を受けていない人数	655	53.1%				2,188	52.6%				2,843	52.7%			
	(6) (4), (5)の合計	1,233	100%				4,160	100%				5,393	100%			
(7)上記①～⑦, ⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	235	19.1%				1,026	24.7%				1,261	23.4%				

(注)複数回答を可としている。「割合」は不登校数の中での割合を示す。

平成27年度 公立高等学校の長期欠席の状況等(千葉県)

1-(1)長期欠席者数(在籍者数は、5月1日現在の学校基本調査による)

	在籍者数(5/1現在)	長期欠席者総数	前年度増減	長期欠席率(%)	前年比
全日制	100,707	2,187	-106	2.17%	-0.10
定時制	3,101	1,262	-121	40.70%	-0.83
合計	103,808	3,449	-227	3.32%	-0.21

(注)長期欠席者とは、一つの年度間に連続又は断続して30日以上欠席した者である。

1-(2)理由別長期欠席者数

長期欠席の理由	全日制			定時制			全定合計		
	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)	総数	出現率(%)	割合(%)
病気	333	0.33%	15.23%	90	2.90%	7.13%	423	0.41%	12.26%
経済的理由	15	0.01%	0.69%	65	2.10%	5.15%	80	0.08%	2.32%
不登校	1,680	1.67%	76.82%	924	29.80%	73.22%	2,604	2.51%	75.50%
その他	159	0.16%	7.27%	183	5.90%	14.50%	342	0.33%	9.92%
合計	2,187	2.17%	100%	1,262	40.70%	100%	3,449	3.32%	100.00%

(注1)出現率とは、理由別長期欠席者数の全生徒数に対する割合である。

(注2)割合とは、理由別長期欠席者数の合計に占める割合である。

2 不登校生徒における前年度の不登校の有無

	有	無	その他	合計
全日制	571	1,006	103	1,680
定時制	564	290	70	924
合計	1,135	1,296	173	2,604

(注)「その他」は、不登校生徒のうち前年度の不登校の状況が確認できなかった者である。

3-1) 課程別不登校生徒数

	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計	
	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)	不登校生徒数	出現率(%)
1学年	472	1.67%	/		472	1.67%
2学年	596	2.11%	/		596	2.11%
3学年	470	1.73%	/		470	1.73%
単位制	142	0.83%	924	29.80%	1,066	5.26%
合 計	1,680	1.67%	924	29.80%	2,604	2.51%

3-2) 課程別不登校生徒欠席状況

区 分	全 日 制				定時制 (単位制)	全定合計
	1年	2年	3年	単位制		
不登校生徒数	472	596	470	142	924	2604
90日以上欠席	80	79	33	16	250	458
出席日数が10日以下	6	11	1	3	62	83
出席日数が0日	2	5	0	2	28	37

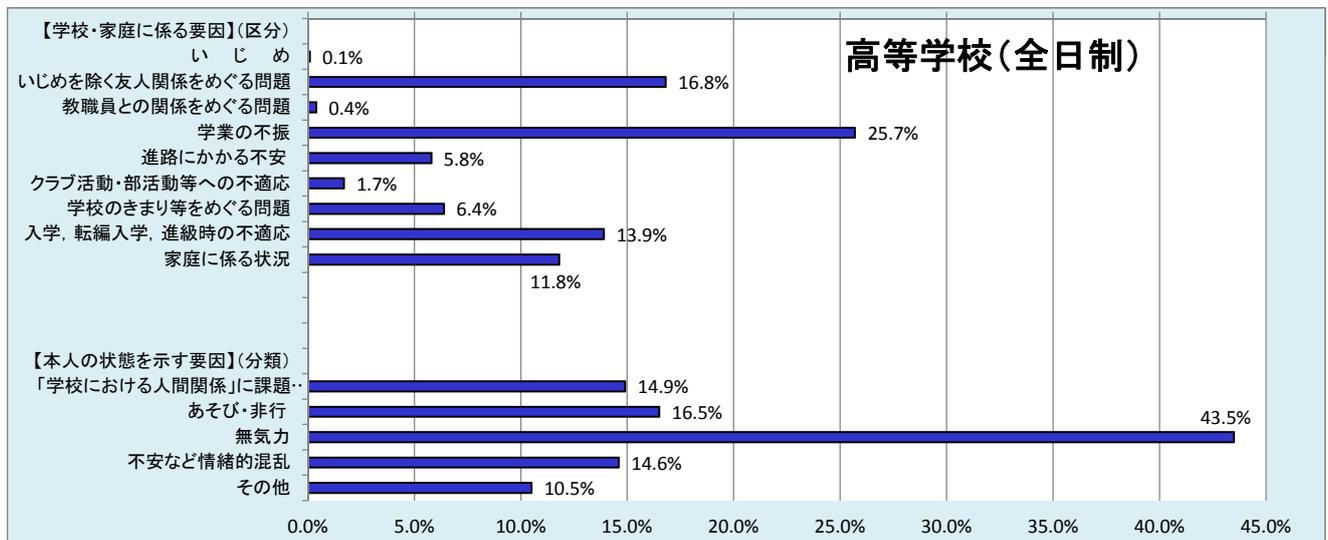
3-3) 不登校生徒のうち中途退学・原級留置になった生徒数

	不登校生徒数	中途退学者数	中途退学率(%)	原級留置者数	原級留置率(%)
全 日 制	1,680	470	27.98%	39	2.32%
定 時 制	924	204	22.08%	/	
合 計	2,604	674	25.88%	39	1.50%

4 不登校の要因

(1) 高校: 全日制

学校、家庭に係る要因 (区分) 本人に係る要因 (分類)	分類別児童数	学校に係る状況								家庭に係る状況
		いじめ	いじめを除く友人関係の問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題	入学、転編入学、進級時の不適応	
「学校における人間関係」に課題を抱えている。	251	1	188	4	14	1	15	12	33	9
	—	0.4%	74.9%	1.6%	5.6%	0.4%	6.0%	4.8%	13.1%	3.6%
	14.9%	100.0%	66.7%	57.1%	3.2%	1.0%	53.6%	11.1%	14.1%	4.5%
「あそび・非行」の傾向がある。	277	0	4	0	84	0	1	40	19	34
	—	0.0%	1.4%	0.0%	30.3%	0.0%	0.4%	14.4%	6.9%	12.3%
	16.5%	0.0%	1.4%	0.0%	19.4%	0.0%	3.6%	37.0%	8.1%	17.2%
「無気力」の傾向がある。	730	0	36	1	293	35	6	49	142	55
	—	0.0%	4.9%	0.1%	40.1%	4.8%	0.8%	6.7%	19.5%	7.5%
	43.5%	0.0%	12.8%	14.3%	67.8%	35.7%	21.4%	45.4%	60.7%	27.8%
「不安」の傾向がある。	245	0	49	2	35	55	5	3	25	50
	—	0.0%	20.0%	0.8%	14.3%	22.4%	2.0%	1.2%	10.2%	20.4%
	14.6%	0.0%	17.4%	28.6%	8.1%	56.1%	17.9%	2.8%	10.7%	25.3%
「その他」	177	0	5	0	6	7	1	4	15	50
	—	0.0%	2.8%	0.0%	3.4%	4.0%	0.6%	2.3%	8.5%	28.2%
	10.5%	0.0%	1.8%	0.0%	1.4%	7.1%	3.6%	3.7%	6.4%	25.3%
計	1,680	1	282	7	432	98	28	108	234	198
	100.0%	0.1%	16.8%	0.4%	25.7%	5.8%	1.7%	6.4%	13.9%	11.8%



(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。

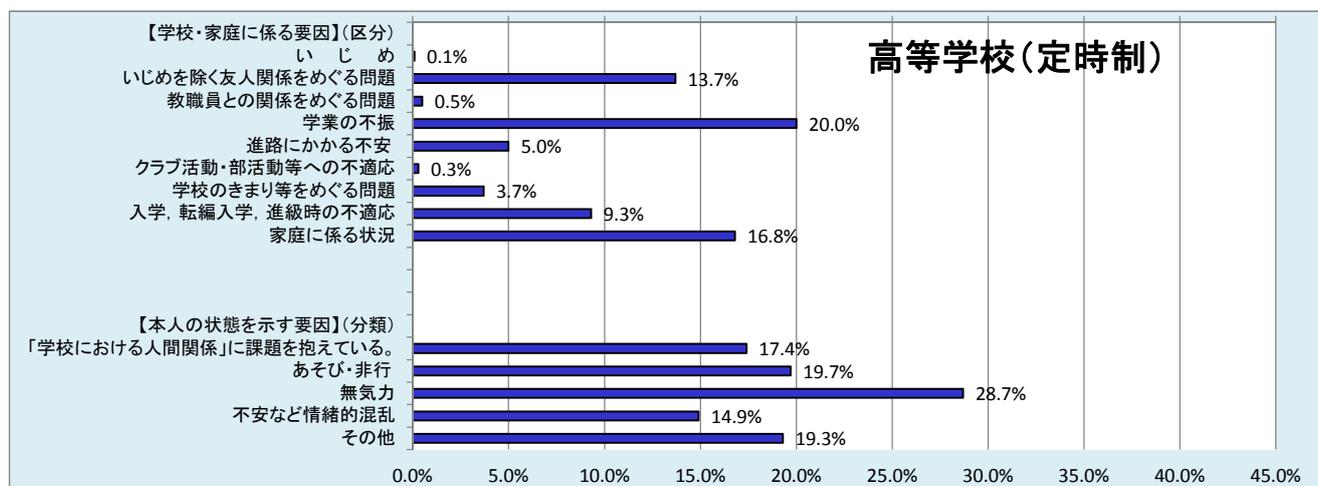
(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

(2) 高校: 定時制

本人に係る要因 (分類)	学校、家庭に係る要因 (区分)	分類別児童数	学校に係る状況							家庭に係る状況	
			いじめ	いじめを除く友人関係をめぐる問題	教職員との関係をめぐる問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動・部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐる問題		進級時の転編入学、不適応
「学校における人間関係」に課題を抱えている。		161	1	68	3	4	3	0	2	16	11
		—	0.6%	42.2%	1.9%	2.5%	1.9%	0.0%	1.2%	9.9%	6.8%
		17.4%	100.0%	53.5%	60.0%	2.2%	6.5%	0.0%	5.9%	18.6%	7.1%
「あそび・非行」の傾向がある。		182	0	9	0	58	2	0	23	5	18
		—	0.0%	4.9%	0.0%	31.9%	1.1%	0.0%	12.6%	2.7%	9.9%
		19.7%	0.0%	7.1%	0.0%	31.4%	4.3%	0.0%	67.6%	5.8%	11.6%
「無気力」の傾向がある。		265	0	14	1	73	16	0	1	22	39
		—	0.0%	5.3%	0.4%	27.5%	6.0%	0.0%	0.4%	8.3%	14.7%
		28.7%	0.0%	11.0%	20.0%	39.5%	34.8%	0.0%	2.9%	25.6%	25.2%
「不安」の傾向がある。		138	0	29	1	30	18	0	0	14	33
		—	0.0%	21.0%	0.7%	21.7%	13.0%	0.0%	0.0%	10.1%	23.9%
		14.9%	0.0%	22.8%	20.0%	16.2%	39.1%	0.0%	0.0%	16.3%	21.3%
「その他」		178	0	7	0	20	7	3	8	29	54
		—	0.0%	3.9%	0.0%	11.2%	3.9%	1.7%	4.5%	16.3%	30.3%
		19.3%	0.0%	5.5%	0.0%	10.8%	15.2%	100.0%	23.5%	33.7%	34.8%
計		924	1	127	5	185	46	3	34	86	155
		100.0%	0.1%	13.7%	0.5%	20.0%	5.0%	0.3%	3.7%	9.3%	16.8%



(注1) 「本人に係る要因(分類)」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因一つを選択。二つ以上の要因があり、いずれが主であるかを決め難い場合は、分類欄のより上段のものから選択。

(注2) 「学校、家庭に係る要因(区分)」については、複数回答可。「本人に係る要因(分類)」で回答した要因の理由として考えられるものを「学校に係る状況」「家庭に係る状況」より全て選択。なお、学校及び家庭に係る状況に当てはまるものがない場合は、回答していない。

(注3) 「家庭に係る状況」とは、家庭の生活環境の急激な変化、親子関係をめぐる問題、家庭内の不和等が該当する。

(注4) 中段は、各区分における分類別児童生徒数に対する割合。下段は、各区分における「学校、家庭に係る要因(区分)」の「計」に対する割合。

5 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

区分	全 日 制		定 時 制		全 定 合 計		
	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	総数	割合 (%)	
学 校 外	(1)①～⑦の機関等での相談・指導を受けた実人数	114	6.8%	34	3.7%	148	5.7%
	指導要録上出席扱いとなった人数	4		0		4	
	①教育支援センター(適応指導教室)	1	0.1%	1	0.1%	2	0.1%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	②教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	8	0.5%	0	0.0%	8	0.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	③児童相談所, 福祉事務所	11	0.7%	4	0.4%	15	0.6%
	指導要録上出席扱いとなった人数	4		0		4	
	④保健所, 精神保健福祉センター	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑤病院, 診療所	86	③ 5.1%	26	③ 2.8%	112	③ 4.3%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
	⑥民間団体, 民間施設	3	0.2%	1	0.1%	4	0.2%
	指導要録上出席扱いとなった人数	0		0		0	
⑦上記以外の機関等	7	0.4%	2	0.2%	9	0.3%	
指導要録上出席扱いとなった人数	2		0		2		
(2)①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない	1,207	71.8%	805	87.1%	2,012	77.3%	
(3)不明	359	21.4%	85	9.2%	444	17.1%	
(4) (1)～(3)の合計	1,680	100.0%	924	100.0%	2,604	100.0%	
学 校 内	(5) ⑧, ⑨による相談・指導等を受けた実人数	639	38.0%	122	13.2%	761	29.2%
	⑧養護教諭による専門的な指導を受けた人数	422	① 25.1%	49	② 5.3%	471	① 18.1%
	⑨SC, 相談員等による専門的な相談を受けた人数	331	② 19.7%	74	① 8.0%	405	② 15.6%
	(6)上記⑧, ⑨による相談・指導等を受けていない人数	1,041	62.0%	802	86.8%	1,843	70.8%
	(7) (5), (6)の合計	1,680	100.0%	924	100.0%	2,604	100.0%

平成27年度 公立高等学校の中途退学者数等の状況(千葉県)

1-(1) 中途退学者数(在籍者数は、4月1日現在による)

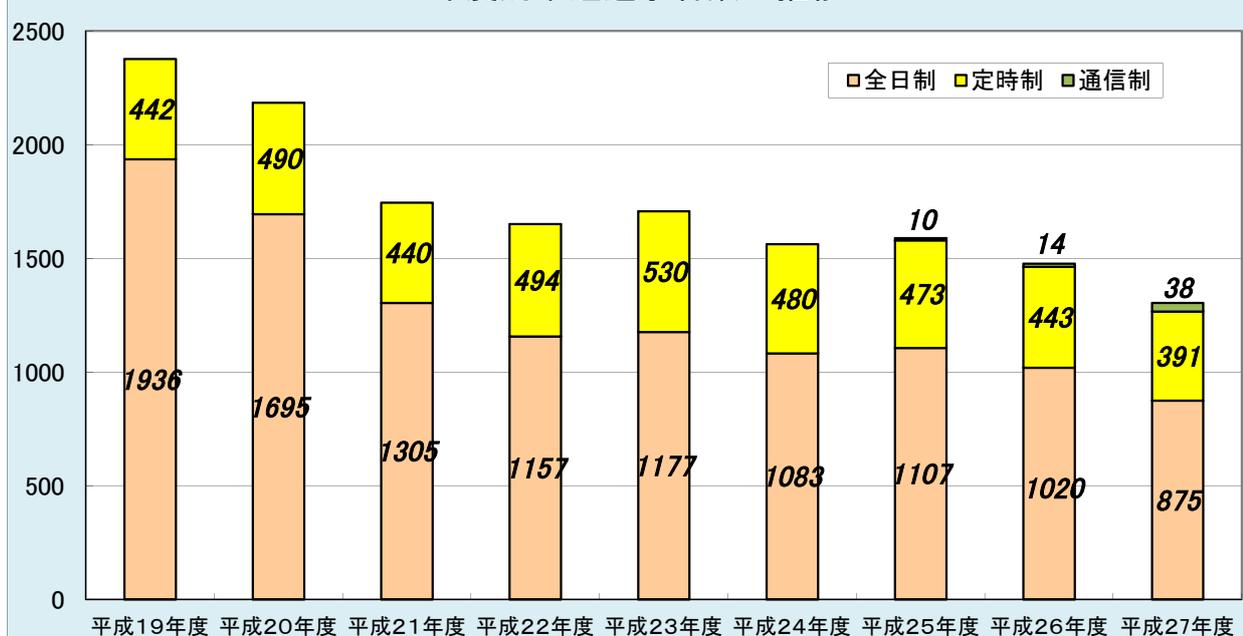
	在籍者数(4/1現在)	中途退学者数総数	前年度増減	中退率(%)	前年比
全日制	100,760	875	-145	0.87%	-0.14
定時制	3,087	391	-52	12.67%	-0.59
通信制	1,156	38	24	3.29%	1.97
合計	105,003	1,304	-173	1.24%	-0.16

(注)平成25年度の調査から通信制が加わった。

1-(2) 中途退学者(人数)・中途退学率(%)の推移

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
全日制	中退者数	1,936	1,695	1,305	1,157	1,177	1,083	1,107	1,020	875
	中退率(%)	1.97%	1.75%	1.35%	1.18%	1.18%	1.07%	1.11%	1.01%	0.87%
定時制	中退者数	442	490	440	494	530	480	473	443	391
	中退率(%)	15.88%	16.13%	13.61%	14.18%	14.82%	13.18%	13.45%	13.26%	12.67%
通信制	中退者数	—	—	—	—	—	—	10	14	38
	中退率(%)	—	—	—	—	—	—	0.69%	1.32%	3.29%
合計	中退者数	2,378	2,185	1,745	1,651	1,707	1,563	1,590	1,477	1,304
	中退率(%)	2.36%	2.19%	1.75%	1.62%	1.66%	1.50%	1.51%	1.40%	1.24%

年度別中途退学者数の推移



2-(1) 全日制学年別中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比	割合 (%)	割合 前年比
1	28,154	351	1.25%	※-0.41	40.1%	※-16.4
2	28,116	349	1.24%	※0.24	39.9%	※7.2
3	27,113	99	0.37%	※0.04	11.3%	※0.5
単位制	17,377	76	0.44%		8.7%	
合計	100,760	875	0.87%	-0.14	100.0%	

(注)今年度より単位制を学年別に分けて調査していないため、前年比は参考数値となります。

2-(2) 定時制・通信制中途退学者数

学年	在籍者数 (4/1現在a)	中退者数(b)	中退率 (b/a %)	中退率 前年比
定時制	3,087	391	12.67%	-0.59
通信制	1,156	38	3.29%	1.97
合計	4,243	429	10.11%	-0.28

3 中途退学の理由別割合

中途退学の理由	全日制			定時制			通信制			合計			
	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	総数	割合(%)	前年比	
学 業 不 振	122	13.9%	-2.1%	24	6.1%	1.4%	14	36.8%	36.8%	160	12.3%	-0.3%	
学 校 生 活 不 適 応	もともと高校生活に熱意がない	180	20.6%	-3.3%	86	22.0%	4.6%	13	34.2%	34.2%	279	21.4%	-0.3%
	授業に興味がない	52	5.9%	-2.3%	38	9.7%	2.7%	0	0.0%	0.0%	90	6.9%	-0.9%
	人間関係がうまく保てない	97	11.1%	2.3%	40	10.2%	5.9%	0	0.0%	0.0%	137	10.5%	3.1%
	学校の雰囲気合わない	51	5.8%	3.0%	28	7.2%	3.5%	0	0.0%	0.0%	79	6.1%	3.0%
	その他	58	6.6%	1.4%	11	2.8%	-8.0%	0	0.0%	-7.1%	69	5.3%	-1.6%
進 路 変 更	別の高校への入学を希望	93	10.6%	2.9%	14	3.6%	0.4%	5	13.2%	-72.6%	112	8.6%	1.5%
	専修・各種学校への入学を希望	4	0.5%	0.0%	1	0.3%	-1.3%	0	0.0%	0.0%	5	0.4%	-0.4%
	就職を希望	69	7.9%	-3.9%	59	15.1%	-14.0%	0	0.0%	0.0%	128	9.8%	-7.0%
	高卒程度認定試験を受験希望	17	1.9%	-0.1%	9	2.3%	0.0%	0	0.0%	0.0%	26	2.0%	-0.1%
	その他	9	1.0%	0.0%	1	0.3%	-1.1%	3	7.9%	7.9%	13	1.0%	-0.1%
病 気 け が 死 亡	25	2.9%	0.4%	21	5.4%	3.1%	2	5.3%	-1.9%	48	3.7%	1.2%	
経 済 的 理 由	9	1.0%	0.6%	9	2.3%	2.1%	0	0.0%	0.0%	18	1.4%	1.0%	
家 庭 の 事 情	34	3.9%	0.0%	31	7.9%	1.2%	1	2.6%	2.6%	66	5.1%	0.3%	
問 題 行 動 等	33	3.8%	-0.5%	8	2.0%	0.7%	0	0.0%	0.0%	41	3.1%	-0.2%	
そ の 他 の 理 由	22	2.5%	1.6%	11	2.8%	-1.2%	0	0.0%	0.0%	33	2.5%	0.7%	
合 計	875	100.0%		391	100.0%		38	100.0%		1,304	100.0%		

(注)資料中の割合の欄は四捨五入で処理した数値のため、合計と合わない場合がある。